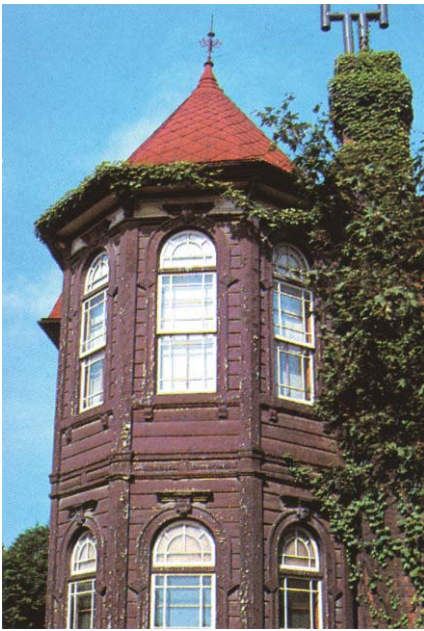


弘前学院外人宣教師館（重要文化財）

弘前学院の始まりは、明治19年に元寺町弘前教会内に開設された来徳女学校である。創設者は本多庸一。その後校名は、弘前女学校・聖愛高等女学校などを経て、弘前学院を冠称する（昭和25年）ようになって今日に至る。この外人宣教師館は、アメリカ伝道本部から派遣された宣教師のための宿舎として建てられたもの。明治29年に保存登記されているから、その頃の建物であることは間違いない。木造二階建てで、八角の尖塔をもつ約50坪の洋館である。設計・施工者は、口伝によればクリスチャン棟梁桜庭駒五郎ということになっている。当初瓦ヶ町にあったものを、校舎の移転にともない稔町へ解体移築（写真）して、昭和55年に献堂式を挙げた。53年の重文指定である。



移築前（昭44）

